

ウイズウェイストジャパン三戸事業所への搬入について

1 これまでの実績

- 皆様のご協力により、平成20年2月から3月末までのウイズウェイストジャパン三戸事業所への搬入量は、約1,496トンでした。

2 搬入する産業廃棄物

- 昨年度に引き続き搬入する産業廃棄物は、現場で法令で定められた検査方法により十分に検査し、有害物質が含まれていないことを確認した普通の産業廃棄物で、いずれもウイズウェイストジャパン三戸事業所の許可品目となっているものとします。

3 搬出に係る事業者

- 三戸ウェイストパーク県境再生共同企業体（企業体の構成員）
株式会社ウイズウェイストジャパン、有限会社東海、三田建材運輸株式会社、
金加運輸有限会社、釜淵運送有限会社

4 平成20年度の搬入期間及び量

- 平成20年4月22日（火）から平成21年3月31日（火）まで
- 土日、祝日は運行しない。（他に盆・正月休みあり）
- 6万トンから6万5千トン程度（今年度の目標量であり、現場の状況により変動するが、今年度の上限）

5 運搬ルート（県境不法投棄現場→ウイズウェイストジャパンまで約35km、約1時間）

- グループ毎にそれぞれの運搬会社を8時30分以降に出発。
- 上郷交差点を左折して道前・浄法寺線を上り現場へ。
- 現場で積み込み、計量、洗車して出発
- 上郷交差点、小沼交差点、川守田交差点を經由して処分場へ



6 運搬台数

- ・ 1グループ当たり2～3台の最大17台で2往復、合計34台で運搬予定
- ・ 5月末までは、金加運輸2台、三田建材運輸3台、釜淵運送3台をそれぞれ1グループとし、計8台で2往復、合計16台で運搬
- ・ 4月22日は各グループの先頭車各一台、合計3台で試行運搬し、県が先導し追走。
- ・ 4月23・24日は、3グループ8台2往復を県が追走して運行状況を確認する。
- ・ 最大で17台となるが、そのグループ数、各運搬会社の台数は現在のところ未定。

7 運搬時間帯

- ・ 通過時間帯は、運搬車両が現場を出発した後、三戸広域農道から県道野々上斗内線を通る時間帯

○ 1往復目【現場→ウイズウェイトジャパン三戸事業所】

グループ	現場出発時刻	通過時間帯
1グループ目（2台）	10時10分頃	10時50分頃から11時10分頃まで
2グループ目（3台）	10時30分頃	11時10分頃から11時30分頃まで
3グループ目（3台）	11時00分頃	11時40分頃から12時00分頃まで

○ 2往復目【現場→ウイズウェイトジャパン三戸事業所】

グループ	現場出発時刻	通過時間帯
1グループ目（2台）	14時40分頃	15時20分頃から15時40分頃まで
2グループ目（3台）	14時50分頃	15時30分頃から15時50分頃まで
3グループ目（3台）	15時10分頃	15時50分頃から16時10分頃まで

8 その他

- ・ 運搬台数や運搬時間帯が変わる場合は、その都度お知らせします。
- ・ 運搬に当たっては、交通法規を順守のうえ、安全運転に十分留意させます。（毎週金曜日に関係者が集まって実施される工程会議で適切に指示）
- ・ 廃棄物が飛散・流出しないよう適切に運搬させます。
- ・ 運搬が適切に行われているかを抜き打ちで検査するとともに、処分が適正に行われているかどうか定期的に検査します。
- ・ 運搬・処分について、何か気づいた点などありましたら、ご連絡ください。



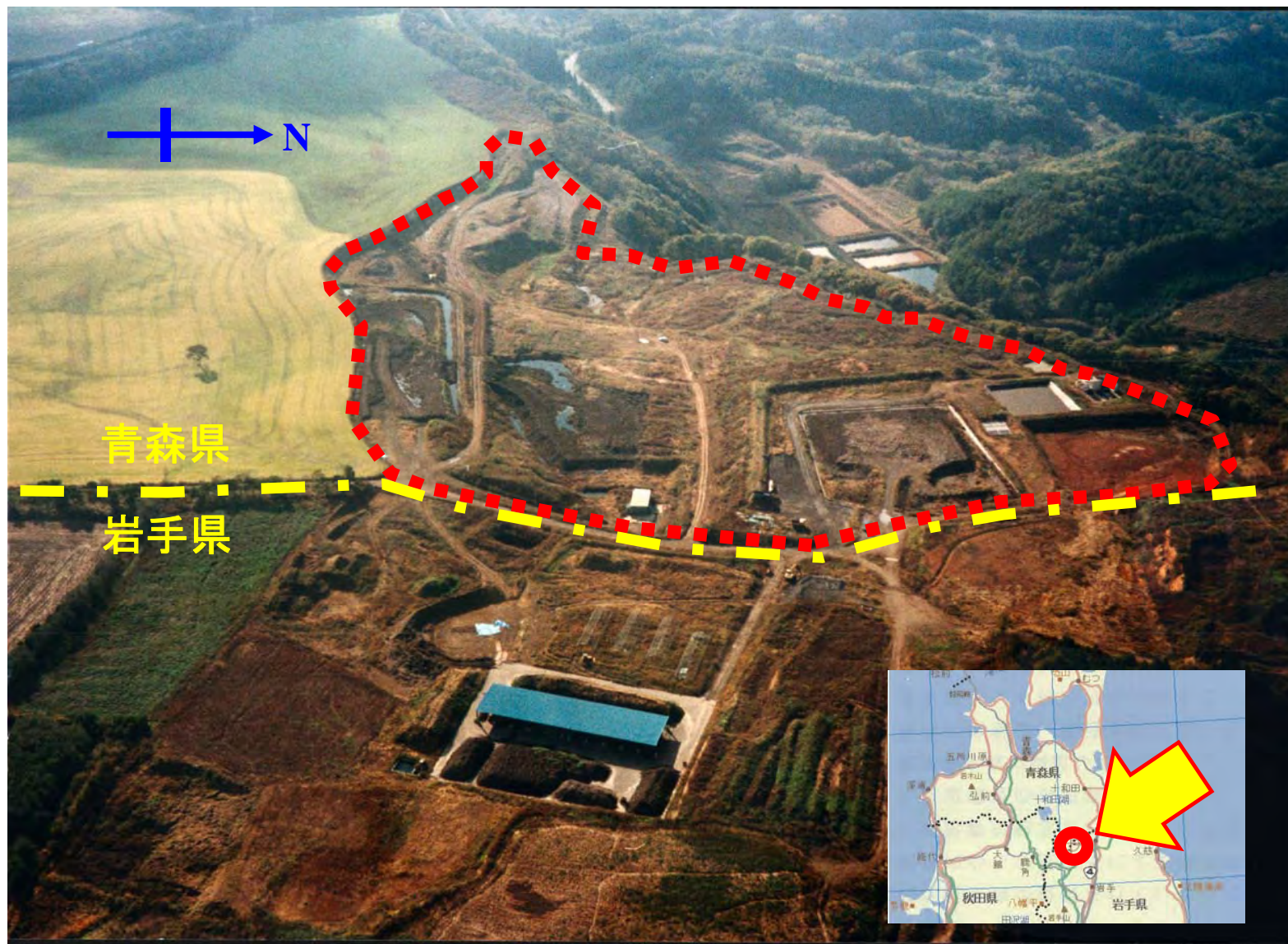
青森・岩手県境不法投棄事案の概要について

平成20年4月21日

青森県 県境再生対策室

不法投棄現場状況

(平成12年10月撮影)



不法投棄現場状況

(平成19年5月撮影)



不法投棄産業廃棄物の種類

バーク堆肥様物主体

焼却灰主体

RDF(固形燃料)様物主体

汚泥主体

廃棄物は埋立てられている場所
および深度によって異なる。



不法投棄廃棄物(焼却灰主体)



不法投棄廃棄物(バーク堆肥)



不法投棄廃棄物(RDF様物)



不法投棄廢棄物(污泥)



不法投棄廃棄物(金属くず)



不法投棄廃棄物(スラグ)







廃棄物の撤去

(洗車作業)



タイヤ洗浄



高圧水洗浄

廃棄物の撤去

(運搬ルート)



